

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

●森林整備育成委員会 ツリーシェルター撤去に関する現地検討会を開催

6月9日（火）、森林整備育成委員会は岐阜市山県岩の早生樹試験地において、ツリーシェルター撤去に関する現地検討会を開催しました。

森林整備育成委員会の前身である「保育の合理化ワーキンググループ」では、平成30年度から県内各地で早生樹（コウヨウザン・センダン）の試験植栽を実施しており、岐阜県森林研究所の協力を得ながら、成長状況や管理手法について継続的な調査・検討を行ってきました。

今回の検討会は、植栽から一定期間が経過した令和元年度植栽地を対象に開催したものです。

当日は、植栽木の保護に使用してきたツリーシェルターについて、撤去の必要性や適切な撤去時期の判断方法を現地で確認しました。また、実際に撤去作業を行い、必要な作業人数や作業時間の目安を把握することで、今後の施業計画の検討や効率的な森林管理に資する基礎データの収集を行いました。

さらに、岐阜県森林研究所の研究員から助言を受けながら、ツリーシェルターの効果や撤去時期の考え方、判断に当たっての留意点などについて意見交換を行い、今後の管理方法の改善に向けた知見を深めました。

参加者からは、「コウヨウザンの枝葉が鋭く、作業中に痛みを感じた」といったコウヨウザン特有の特徴に関する意見や、「支柱が根に絡まっており、抜き取りに時間を要した」といった撤去時期に関する課題が挙げられました。また、「筒型のツリーシェルターは、自転車の廃タイヤを利用したゴムで束ねることで、一度に大量に運搬できた」といった作業効率化に関する知見も共有されました。

森林整備育成委員会では、今後も早生樹の成長状況や管理手法について継続的な調査・検討を行ってまいります。



現地検討会の様子



撤去作業中の様子



ツリーシェルターをゴムで束ねた様子

●新たな森林経営委員会 雇用管理研修会を開催

6月10日（水）、岐阜県中濃総合庁舎において、林業事業体の経営者や人事担当者等を対象とした「雇用管理研修会」を開催しました。

近年、林業分野では就業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、人材の確保・育成・定着に向けた取組の重要性が高まっています。本研修会は、そうした課題への対応に役立つ知識や事例を学ぶことを目的に開催したものです。

研修では、株式会社ピースマネジメント代表取締役の江越氏を講師に迎え、人材確保・定着に向けた経営改善の考え方についてご講演いただきました。講演では、データに基づく離職理由の分析や若年層の就職観などについて紹介されるとともに、求人票を出して応募を待つだけでなく、ホームページやSNSを活用した自社の「見える化」や、学校・支援機関・地域関係者との「接点づくり」の重要性について、事例を交えながら解説いただきました。

また、株式会社中日アド企画岐阜支社の光井氏からは、ホームページやSNSを活用した情報発信のポイントについてご講演いただきました。情報発信を継続することの重要性や、仕事内容や職場環境を具体的に伝えることで採用サイトの魅力を高める手法について紹介いただいたほか、Instagramを活用した認知から応募までの導線づくりや、企業説明会におけるデザイン・イメージの統一の重要性についても説明いただきました。

さらに、森のジョブステーションぎふの藤掛氏および村井氏からは、戦略的な求人情報のあり方についてご講演いただきました。求人側と求職側の双方の情報を丁寧に把握・共有し、適切なマッチングを行うことで、ミスマッチや早期離職の防止につながることを学びました。

参加者からは、「新卒者のニーズを知ることができた」

「事業体から積極的に情報発信する重要性を認識できた」などの感想が寄せられました。

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムでは、今後も林業の担い手確保や森林経営の発展につながる研修会の開催や情報共有の場づくりに取り組んでまいります。



(株)ピースマネジメント 江越氏の講演



(株)中日アド企画岐阜支社 光井氏の講演



森のジョブステーションぎふ
藤掛氏および村井氏の講演

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）

〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529

E-Mail: gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp